

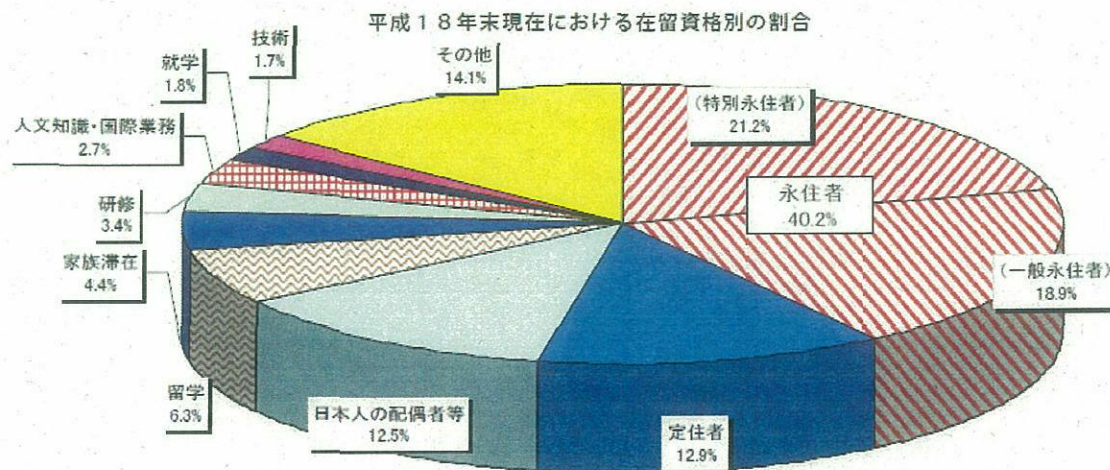
外国人登録者

○外国人登録者数は、約208万5,000人となり、過去最高を更新。我が国総人口の1.63パーセントを占める。

○外国人登録者の国籍(出身地)の数は188(無国籍を除く。)であり、韓国・朝鮮が全体の28.7パーセントを占め、以下、中国、ブラジル、フィリピン、ペルー、米国と続いている。

○外国人登録者数が最も多いのは東京都(36万4,712人)で、全国の17.5パーセントを占めている。以下、大阪府、愛知県、神奈川県、埼玉県、兵庫県、千葉県、静岡県、岐阜県、京都府の順となっており、上位10都府県(146万1,354人)で全国の70.1パーセントを占めている。この10都府県の中で、平成17年末と比較して増加率が高いのは岐阜県(7.6パーセント)及び愛知県(7.1パーセント)である。

○在留資格の構成比は、「永住者」(一般永住者と特別永住者を総称。)が83万7,521人で全外国人登録者の40.2パーセントを占め、以下、「定住者」が12.9パーセント、「日本人の配偶者等」が12.5パーセント、「留学」が6.3パーセントと続いている。平成17年末と比較して、「研修」及び「就学」がそれぞれ30.3パーセント、30.5パーセント増加している一方で、「興行」は、42.1パーセント減少している。



[2007年5月
法務省入国管理局]